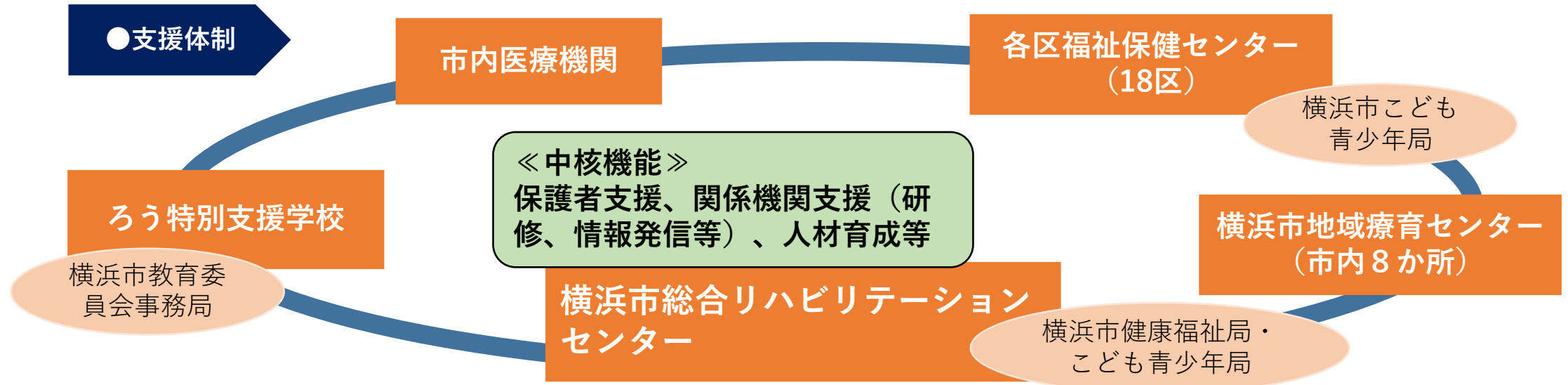


横浜市聴覚障害児支援中核機能モデル事業（令和4年度）



【支援内容：令和4年度実績】

- 関係機関との連携
 - ・地域療育センター言語聴覚士連絡協議会の実施
 - ・情報保障機器の説明・視聴会の実施
 - ・聴覚障害の福祉・医療情報についての集約・発信 等
- 家族支援の実施
 - ・難聴保護者教室（5回、基礎編6回）
- 巡回支援の実施（21園：市内幼稚園、保育園等）
- 難聴障害児の支援方法に係る研修
 - ・インクルージョン支援セミナー（配信）
 - ・技術援助・研修（言語聴覚士の研修受入れ等34回）
 - ・難聴重複障害児支援についての療育研修会の実施

【今後の方向性】

- 市外の医療機関や、民間の療育機関を利用する難聴児の実態把握等の実施
- 難聴重複障害と判断された場合の療育機関の連携の強化についての検討
- 新生児聴覚スクリーニング検査後に聴力が低下する児童の早期発見の体制拡充
- 令和4年度実施の横浜市内難聴乳幼児実態調査の分析を行い関係機関と共有。今後の検討内容に活用
- 中核機能の拡充や他機関との連携等のあり方について検討